

Daily Report (号外)

～8月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が9月6日に発表した8月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+14.2万人と市場予想(同+16.5万人)を下回る結果となりました。なお、7月の非農業部門雇用者数は同+8.9万人(速報値:同+11.4万人)、6月は同+11.8万人(速報値:同+17.9万人)に下方修正されました。

業種別では製造業が同▲2.4万人(前月:同+0.6万人)と減少に転じ、小売業が同▲1.1万人(前月:同▲0.3万人)と減少幅が拡大した一方、娯楽・宿泊業は同+4.6万人(前月:同+2.4万人)と伸びが加速し、業種によってまちまちの結果となりました。

失業率は4.2%と市場予想(4.2%)に一致し、5カ月ぶりに低下しました。

平均時給は前年同月比+3.8%と市場予想(同+3.7%)を上回り、前月(同+3.6%)から伸びが加速しました。前月比は+0.4%と市場予想(同+0.3%)を上回り、前月(同+0.2%)から伸びが加速しました。

労働参加率は62.7%と市場予想(62.7%)に一致し、前月(62.7%)から横ばいとなりました。

市場反応 (米国市場)

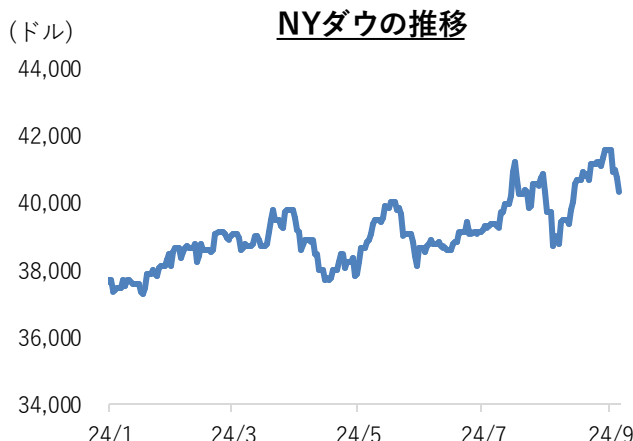
6日の米国株式市場は揃って大幅に下落しました。

強弱入り混じる米雇用統計の結果を受けてNYダウ平均株価は小幅上昇で寄り付くも、過去2カ月分の非農業部門雇用者数が下方修正されたことを受けて労働市場の減速懸念が強まったことから幅広い銘柄が売られる展開となり、NYダウ平均株価は前日比▲1.01%、S&P500指数は同▲1.73%、ナスダック総合指数は同▲2.55%となりました。

6日の米国債券市場は、まちまちの米雇用統計を受けて一時上昇したものの、FRBのウォーラー理事が政策修正の必要性に言及したことを受けて買いが優勢となり、10年債利回りは前日比▲0.02%の3.71%程度で終わりました。

6日の米ドル/円は、米雇用統計が急激な悪化を示さなかったとの見方から発表直後にドル買い・円売りが優勢となったものの、米長期金利低下を受けて日米金利差が縮小したことからドル売り・円買いに転じ、前日比1円15銭円高ドル安の142円30銭程度で取引を終えました。

6日の原油先物市場は、米雇用統計の結果を受けて景気減速に伴う原油需要の伸び悩み懸念が広がったことから売りが優勢となり、WTI原油先物10月限は前日比▲2.14%の1バレル=67.67ドルとなりました。



評価・今後の見通し

8月の雇用統計は、失業率は市場予想通り、平均時給は市場予想を上回ったものの、非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことから、8月に意識された急速な景気悪化懸念は和らいだものの、引続き労働市場の冷え込みを示唆する結果となりました。

市場では、8月の雇用統計の結果を受けて、9月のFOMCにおけるFRBの利下げが確実視される状況に変化はないものの、利下げ幅については決め手に欠ける展開となりました。

市場の予想する利下げ時期は、9月のFOMCで政策金利を25bp引下げる確率は70%程度、50bp引下げる確率が30%程度と相当程度の利下げを織り込んでいるほか、11月のFOMCにて2会合連続での利下げも織り込むなど、年内の大幅な利下げを見込む中での利下げ回数予想に注目が集まっています。

今後の株式市場の見通しとしては、短期的には9月11日発表の消費者物価指数、12日発表の米生産者物価指数、17日発表の米小売売上高など引続きインフレや景気動向に関連する指標及び、9月17日～18日にかけて開催されるFOMCに注目が集まると考えます。

FRBの金融政策によって、インフレの抑制と米景気のソフトランディングの両立が可能との見方が強まっていたものの、引続きFRBが労働市場を過度に冷え込ませたという懸念及び景気後退への警戒は残っており、短期的には経済指標次第の様相が強まるボラティリティの高い相場が継続するとみています。

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減 (前月比・万人)

出所：米国労働省

	24/3	24/4	24/5	24/6	24/7	24/8
非農業部門	+ 31.0	+ 10.8	+ 21.6	+ 11.8	+ 8.9	+ 14.2
鉱工業部門	+ 3.3	-0.3	+ 1.2	+ 0.2	+ 2.0	+ 1.0
建設業	+ 3.7	-0.5	+ 1.3	+ 1.8	+ 1.3	+ 3.4
製造業	-0.6	+ 0.7	+ 0.3	-1.6	+ 0.6	-2.4
資源・鉱業	+ 0.2	-0.5	-0.4	+ 0.0	+ 0.1	+ 0.0
サービス部門	+ 19.9	+ 11.1	+ 19.4	+ 9.5	+ 5.4	+ 10.8
卸売業	+ 1.0	+ 0.7	-0.2	+ 0.6	+ 0.7	+ 0.5
小売業	+ 1.9	+ 1.4	+ 0.8	-2.0	-0.3	-1.1
輸送・倉庫業	+ 0.5	+ 2.1	+ 2.6	+ 1.1	+ 0.6	+ 0.8
情報	+ 0.2	-0.3	-0.1	+ 0.0	-1.5	-0.7
金融	+ 0.4	-0.3	+ 1.2	+ 1.3	-0.1	+ 1.1
専門・ビジネスサービス業	+ 1.7	-1.7	+ 5.5	-1.1	-1.3	+ 0.8
人材派遣業	-0.1	-2.4	+ 1.4	-3.0	-1.8	-0.3
教育・ヘルスケア業	+ 7.6	+ 9.8	+ 6.9	+ 8.2	+ 5.5	+ 4.7
娯楽・宿泊業	+ 5.4	-0.9	+ 1.8	+ 0.4	+ 2.4	+ 4.6
その他	1.3	2.7	-0.5	3.9	1.3	0.4
政府部門	+ 7.8	+ 0.0	+ 1.0	+ 2.1	+ 1.5	+ 2.4
失業率(%)	3.8	3.9	4.0	4.1	4.3	4.2
平均時給 前年同月比、%)	4.1	3.9	4.0	3.8	3.6	3.8

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移

